

● 事例紹介 ●

南箕輪村奨学資金助成制度について

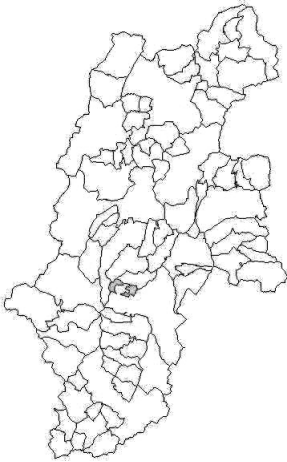
～ 未来へつながらる住民主体の村づくりを目指して～

長野県 南箕輪村教育委員会

長野県南箕輪村は、西に中央アルプス連峰の経ヶ岳・駒ヶ岳、東に南アルプス連峰の仙丈ヶ岳・東駒ヶ岳を望む伊那谷の広い平地の中心に位置しています。天竜川西岸の河岸段丘には緑濃い田園と畑作地帯が広がり、伊那谷有数の美しい風景を作り出しています。

交通の面では、中央自動車道（伊那インターチェンジ）・国道一五三号・JR飯田線が南北に平行して走り、非常にアクセスの良い環境下にあります。

これらの緑豊かな自然環境と住み良い住環境のもと、人口は順調に増加し続け、長野県下有数の人口増加率、低高齢化率を誇っています。



長野県

このような背景のなか、人口は一四五六人（平成二〇年一〇月一日現在）を数え、教育施設は信州大学農学部（南箕輪キャンパス 七一二名在籍）をはじめ、高等学校一校（五一四名在籍）、中学校一校（四五八名在籍）、小学校二校（九四六名在籍）、保育園五園（五一七名在籍）が設置されております。

子どもが元気な村はお年寄りも元気になる、住民が元気な村づくりという考えに基づき、「保育園から大学まである」「保育園に力を入れている」「教育に力を入れている」などの村の特徴を活かし、子育て支援・人材育成に力を入れていきます。

平成二〇年度より、子育て支援・人材育成の一環として、金融機関等から教育資金の融資を受けた住民の方を対象に資金の利子及び保証料に対する補給金の交付制度を創設しました。

この制度は、大学・短期大学・専門学校への進学率が約七割を占めるなかで、学問を修め、社会を知り、国際的理理解を深め、南箕輪村ひいては日本の明日を担う人材を育成する観点での「修学」に係る親の経済的負担を少しでも軽減し、多くの方が経済面で安心して学問を学べる環境を整備することを目的としています。



中央自動車道インターチェンジ付近
信州大学農学部と南部小学校

現在は、制度創設から一年に満たないこともあり、利用実績も少ない状況ではありますが、今後地域の中学・高校へ働きかけ、多くのみなさんにご利用いただき、未来を見据えた人材の育成、住民が輝く村づくりを図ります。

【南箕輪村奨学資金助成制度の概要】

一 助成金額

- (一) 借り入れた金額に対する年間利子の三％以内
- (二) 金融機関の指定する保証会社に支払う保証料の全額

二 対象者

- (一) 南箕輪村に住所を有している方

- (四) 利率及び保証率（額）のわかる書面
- (五) 所得証明書 他

※金融機関の教育ローンには、証書貸付型と当座貸越型（極度型）がありますので、金融機関にお確かめ下さい。

三 助成期間

- (一) 利子に対する助成は、元金の返済を始めてから五年間

- (二) 保証料については、融資実行時に一括で支払った場合は、支払った金額を一回で助成します。毎月の返済額の中に保証料が含まれている場合は、保証料として支払った金額を返済が終了するまで助成します。

四 助成金の申請

- (一) 年二回（四月・一〇月）南箕輪村教育委員会に申請が必要となります。

五 提出書類

- (一) 借用証書の写し
- (二) 金融機関が発行する融資返済予定表の写し
- (三) 金融機関が発行する融資残高証明書



信州大学農学部前ゆりのき並木